**実技編**

【問診】・・・罹患期間の確認、病期の確認

【視診】・・・筋拘縮や可動方向、可動制限の確認

【触診】・・・筋硬結と圧痛の確認

【検査】・・・肩関節疾患→確定診断→困難

**※罹患期間にもよるが、治療回数は5～10回位を目安にしている。**

**1．手技**

治療肢位の確認。治療前後の効果を自覚させる。

**2.手指鍼**

　　　　相点(20～50本)＋小腸勝方、大腸勝方、三焦勝方

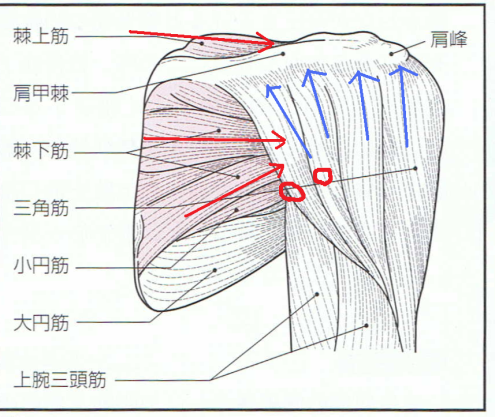
**3.体鍼**

**刺針のポイント**

刺針肢位は病期と症状により限局される場合が多い。

　　　使用番手・・・（寸3、2番）　（寸6、2番）　（寸6、3番）　（2寸、3番）

1.伏臥・・・小円筋、大円筋、棘上筋、棘下筋、　　三角筋後部線維、上腕三頭筋



2.仰臥・・・三角筋前部線維、上腕二頭筋、大円筋、関節内刺針(棘上筋腱)

